表 - 2 8 プログラムの目的と結果の評価項目・指標

目的	評価項目（指標の変化）	収集データ	外部条件等
<p>対カンボジア援助方針での重点分野： * 運輸インフラの整備・維持管理</p>	<p>マクロ経済への寄与： ・ 全国の人・貨物の移動・輸送量 ・ 国内総生産、農業・工業・サービス業 ・ 輸出・輸入 ・ 物価 ・ 観光客数（全国）</p>	<p>+ 全国の道路・鉄道・航空・内陸水運別 + セクター別国内総生産(IMF等) + 全国(ADB等) + 全国、プノンペン(ADB等) + 全国訪問者数（観光省等）</p>	
<p>プログラムの目的： プノンベン - トンレサップ水系・メコン河の北東の開発拠点・隣国間、開発拠点 - 後背地間を結ぶ主要国道、首都近辺の主要国道の復旧・改修・維持管理</p>	<p>プログラム実施により期待されたインパクト （地方経済・社会開発への寄与）： ・ 沿道住民の雇用・所得 ・ 沿道住民の生活変化等 ・ 沿道の商店、レストランの数 ・ 沿道の農業生産促進 ・ 沿道の企業数・資本金 ・ 観光開発促進 ・ 沿道の土地資産価値（価格） ・ カンボジア国民のプログラム認知度 プログラム実施の効果 （人・物の移動・輸送への寄与）： ・ 移動時間・費用 ・ 整備区間の交通量</p>	<p>+ 国建協ヒヤリング調査報告書 + 国建協ヒヤリング調査報告書 + 聞き取り、写真等の比較 + コボンチャム州が主要生産州農産物（農林水産省等） + 関連州別データ（工業商業省聞き取り） + 沿道のホテル・客室数（観光省聞き取り） + 整備区間 12ヶ所（不動産会社での聞き取り調査） + 新聞発表（記事数・発行部数、内容）等</p> <p>+ 聞き取り + JICA 調査報告書、既存調査等</p>	<p>自立発展性： * 復旧・改修・建設された道路・橋梁が維持・補修され続ける。 * カンボジアが自国で類似プロジェクトを計画・実施できる。</p>
<p>プログラムのサブ目的： 1. プノンベン - トンレサップ水系・メコン河の北東の開発拠点・隣国間、開発拠点 - 後背地間を結ぶ主要国道の復旧・改修 2. 首都近辺の主要国道を中心とする道路の修復・維持管理用建設機械の増強と建設機械修理工場改善 3. 国道・プノンベン首都圏の道路・橋梁の整備・維持管理、公共交通管理、交通管理に関する技術者・技能者の育成</p>	<p>プログラムのサブ目的達成度 ・ 復旧・改修・建設された道路距離・橋梁数・橋長 ・ 道路建設センターによる道路修復・補修実績 ・ 供与建設機械・保守修理機械の道路修復・補修能力 ・ 研修員受入数・延べ人・日 ・ 研修成果・無償プロジェクト・専門家派遣との連携 ・ 派遣専門家数、延べ人・月、活動内容 ・ 開発調査数、内容等</p>	<p>+ 基本設計報告書・総合報告書・完了届 + 修復・維持補修実績 + 基本設計報告書・総合報告書 + 研修員受入記録 + アンケート調査等 + 専門家派遣記録・報告書・ヒヤリング + 報告書・ヒヤリング等</p>	<p>外部条件： * 他ドナーが関連区間の整備を実施する。 一 国道 6 号線（スクン・リユア間） 一 国道 7 号線（コボンチャム区間以遠） * カンボジア側による修復・維持管理の予算措置等がなされる。 * 多数の道路・橋梁の復旧・改修プロジェクトが並行して行われることによる弊害（技術者不足・資材高騰等）が考慮される。</p>

プログラム実施による負のインパクト： * 交通事故の発生 * 過積載車による道路・橋梁の損傷	・ 交通事故件数 ・ 発生頻度、損傷程度	+ 全国のみ + 聞き取りのみ	* 負のインパクトを軽減するための措置が取られる。
--	-------------------------	--------------------	---------------------------